

利島村は100周年!



としまとずっと



「15の春自立シート」(1.0版)の公表について

令和6年1月
利島村教育委員会

ご意見はこちらから



「15の春自立シート」(1.0版) 公表について

- 新しい教育大綱の理念である【子供たちの「15の春」に向けた「自立」をみんなで実現する島づくり】のため、「自立」について共通理解を図るためのもの。
- 教育委員会主催ワークショップ等をもとに、28の「自立項目」から成る「15の春自立シート」(1.0版)を作成。
- 子供自身も含め、当事者・関係者の「メタ認知」や「対話」の促進に活用。
- 活用しやすい形を模索し、機動的に改定していく(二次元バーコードより、改善に関する意見募集を随時実施)。

共通理解がないと……



「15の春自立シート」の活用により



利島村“人づくりが島づくり”大綱～利島を良くする「自燃性」の人：「当事者」「自立」「一体感」～【関係箇所抜粋】

(2) 子供たちの「15の春」に向けた「自立」をみんなで実現する島づくり

- ・「利島ならではの」環境を生かし、予測不可能な時代にあらゆる場所で活躍できる「利島っ子」を育てる義務教育学校
- ・利島の担い手の一員である教師自身が学び続けて成長できる、「教師が育つ利島」の実現
- ・「15の春自立シート」や「利島っ子カリキュラム」に基づき、保育園・学校・家庭・地域等の関係者一丸で子供を応援し、子供と大人が共に成長する地域ぐるみの子育て

1. 「15の春自立シート」(1.0版) について
2. 「自立」の深掘り
3. これまで開催したワークショップにおける議論
4. 「15の春自立シート」の活用イメージ

「15の春自立シート」(1.0版)

No	分類	自立項目	頑張りどころ
1	学びに向かう力・人間性等	✓ やるべきことの順番をつけて、一人でコツコツと勉強に向かうことができる	学校> 家庭> 地域
2	学びに向かう力・人間性等	✓ 自分にあった学び方を知っていて、その学び方が身についている	学校> 家庭> 地域
3	学びに向かう力・人間性等	✓ 学ぶことが楽しいと思っている。自分で決めることの楽しさ・大切さを知っている	学校> 家庭> 地域
4	学びに向かう力・人間性等	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている	学校= 家庭> 地域
5	学びに向かう力・人間性等	✓ 失敗したことを落ち込まず前向きに捉え、次に生かすことができる	学校> 家庭> 地域
6	学ぶに向かう力・人間性等	✓ 毎朝、一人で起きることができる。規則正しい生活ができる	家庭> 学校= 地域
7	学ぶに向かう力・人間性等	✓ ここぞという時に、頑張ることができる責任感を持っている	学校= 家庭> 地域
8	学ぶに向かう力・人間性等	✓ 時間や約束を守ることができる	家庭> 学校> 地域
9	学びに向かう力・人間性等	✓ 自分が大切にされてきたことを知っており、日々の「当たり前」に感謝し、自分も周りを大切にできる	家庭> 学校> 地域
10	学びに向かう力・人間性等	✓ 少なくとも自分がされて嫌なことは人にせず、自分がしてもらって嬉しいことを人にできる	家庭> 学校> 地域
11	思考力・判断力・表現力	✓ 自分から挨拶できる	地域> 家庭= 学校
12	思考力・判断力・表現力	✓ 自分から知らない他者に話しかけて、コミュニケーションできる	地域> 家庭= 学校
13	思考力・判断力・表現力	✓ たくさんの人の前でも自己紹介できる等、自分のことを説明できる	学校> 家庭= 地域
14	思考力・判断力・表現力	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに話すことができる	学校= 地域> 家庭
15	思考力・判断力・表現力	✓ 生活のお金と遊ぶお金を分けるなど、自分でお金の管理ができる	家庭> 学校> 地域
16	思考力・判断力・表現力	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる	家庭> 学校> 地域
17	思考力・判断力・表現力	✓ 意見が違う人の良いところを見つけ、話をよく聞くことができ、同じくらい話すこともできる	学校> 家庭> 地域
18	思考力・判断力・表現力	✓ 簡単に人や情報を信じ込まずに、嘘か本当かを見極めることができる。	学校> 家庭> 地域
19	思考力・判断力・表現力	✓ 困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	学校= 家庭> 地域
20	思考力・判断力・表現力	✓ 「人の好き嫌い」と「考え方の違い」を分けて考えることができる。	学校= 家庭> 地域
21	思考力・判断力・表現力	✓ 自分は一人じゃないということを理解し、命を大切にする意識を持ち続けている	家庭= 学校= 地域
22	思考力・判断力・表現力	✓ 自分の周りや地域を良くするために、考えて行動できる	家庭= 学校= 地域
23	知識・技能	✓ 読み・書き・計算など、社会で当然求められることを、行うことができる	学校> 家庭> 地域
24	知識・技能	✓ 分からないことが出てきた時は、インターネットや本などを使い、自分で情報を集めて整理ができる	学校> 家庭> 地域
25	知識・技能	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている	学校= 家庭> 地域
26	知識・技能	✓ 自分と異なる色々な特徴を持つ人がいることを知っている	学校> 家庭= 地域
27	知識・技能	✓ 正しい性の知識や犯罪・防犯に関する意識を持っている	学校= 家庭> 地域
28	知識・技能	✓ 自らが健康であるために、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	家庭> 学校> 地域

「15の春自立シート」(1.0版)【項目抜粋版】

No	自立項目
1	✓ やるべきことの順番をつけて、一人でコツコツと勉強に向かうことができる
2	✓ 自分にあった学び方を知っていて、その学び方が身についている
3	✓ 学ぶことが楽しいと思っている。自分で決めることの楽しさ・大切さを知っている
4	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている
5	✓ 失敗したことを落ち込まず前向きに捉え、次に生かすことができる
6	✓ 毎朝、一人で起きることができる。規則正しい生活ができる
7	✓ ここぞという時に、頑張ることができる責任感を持っている
8	✓ 時間や約束を守ることができる
9	✓ 自分が大切にされてきたことを知っており、日々の「当たり前」に感謝し、自分も周りを大切にできる
10	✓ 少なくとも自分がされて嫌なことは人にせず、自分がしてもらって嬉しいことを人にできる
11	✓ 自分から挨拶できる
12	✓ 自分から知らない他者に話しかけて、コミュニケーションできる
13	✓ たくさんの人の前でも自己紹介できる等、自分のことを説明できる
14	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに話すことができる
15	✓ 生活のお金と遊ぶお金を分けるなど、自分でお金の管理ができる
16	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる
17	✓ 意見が違う人の良いところを見つけ、話をよく聞くことができ、同じくらい話すこともできる
18	✓ 簡単に人や情報を信じ込まずに、嘘か本当かを見極めることができる。
19	✓ 困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる
20	✓ 「人の好き嫌い」と「考え方の違い」を分けて考えることができる。
21	✓ 自分は一人じゃないということを理解し、命を大切にする意識を持ち続けている
22	✓ 自分の周りや地域を良くするために、考えて行動できる
23	✓ 読み・書き・計算など、社会で当然求められることを、行うことができる
24	✓ 分からないことが出てきた時は、インターネットや本などを使い、自分で情報を集めて整理ができる
25	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている
26	✓ 自分と異なる色々な特徴を持つ人がいることを知っている
27	✓ 正しい性の知識や犯罪・防犯に関する意識を持っている
28	✓ 自らが健康であるために、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる

「15の春自立シート」(1.0版)の見方・読み方

No	分類	自立項目	頑張りどころ
1	学びに向かう力・人間性等	✓ やるべきことの順番をつけて、一人でコツコツと勉強に向かうことができる	学校>家庭>地域
2	学びに向かう力・人間性等	✓ 自分にあった学び方を知っていて、その学び方が身についている	学校>家庭>地域
14	思考力・判断力・表現力	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに話すことができる	学校=地域>家庭
15	思考力・判断力・表現力	✓ 生活のお金と遊ぶお金を分けるなど、自分でお金の管理ができる	家庭>学校>地域
16	思考力・判断力・表現力	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる	家庭>学校>地域
17	思考力・判断力・表現力	✓ 意見が違う人の良いところを見つけ、話をよく聞くことができ、同じくらい話すこともできる	学校>家庭>地域
18	思考力・判断力・表現力	✓ 簡単に人や情報を信じ込まずに、嘘か本当かを見極めることができる。	学校>家庭>地域
19	思考力・判断力・表現力	✓ 困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	学校=家庭>地域
20	思考力・判断力・表現力	✓ 「人の好き嫌い」と「考え方の違い」を分けて考えることができる。	学校=家庭>地域
21	思考力・判断力・表現力	✓ 自分は一人じゃないということを理解し、命を大切にする意識をもち続けている	家庭=学校=地域
22	思考力・判断力・表現力	✓ 自分の周りや地域を良くするために、考えて行動できる	家庭=学校=地域
23	知識・技能	✓ 読み・書き・計算など、社会で当然求められることを、行うことができる	学校>家庭>地域
24	知識・技能	✓ 分からないことが出てきた時は、インターネットや本などを使い、自分で情報を集めて整理ができる	学校>家庭>地域
25	知識・技能	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている	学校=家庭>地域
26	知識・技能	✓ 自分と異なる色々な特徴を持つ人がいることを知っている	学校>家庭=地域
27	知識・技能	✓ 正しい性の知識や犯罪・防犯に関する意識を持っている	学校=家庭>地域
28	知識・技能	✓ 自らが健康であるために、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	家庭>学校>地域

日本の学校における教育内容の基準である「学習指導要領」を参考に、28の自立項目を、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③学びに向かう力・人間性等の「資質・能力の3分類」に便宜的に分けたもの。

「15の春」までに利島の子供たちが身につけておきたい力について、28項目に要素分解したもの。

ワークショップで出た意見を基に作成し、利島の教育に関わる方の「願い」「想い」を踏まえた項目になっている。

利島の教育に関わるみんなで子供たちの「自立」を実現するために、お互いの「頑張りどころ」を参考情報としてまとめたもの。

※あくまで「議論の促進のための参考情報」であり、一番左の関係者だけがすべてを担うわけではないことに留意

1. 「15の春自立シート」(1.0版)について
2. 「自立」の深掘り
3. これまで開催したワークショップにおける議論
4. 「15の春自立シート」の活用イメージ

「自立」を深掘り①：義務教育の役割と「自立した学習者」

(1) 義務教育の目的は、社会で自立的に生きる基礎を培うこと

【教育基本法第5条より抜粋】

- 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。

義務教育の目的と歴史的経緯を踏まえた学校の役割

義務教育の目的

- 一人一人の児童生徒の有する能力を伸ばしつつ、社会で自立的に生きる基礎を培うこと
- 国家及び社会の形成者として必要な基本的資質を養うこと

2040年以降の社会を見据えた教育政策の基本方針 (教育振興基本計画)

- 持続的な社会の創り手の育成
- 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

日本の学校教育の本質的な役割 (令和答申)

- 学習機会と学力の保障
- 社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障
- 安全、安心な居場所・セーフティネットとしての身体的、精神的な健康の保障

中央教育審議会「義務教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ (概要)」より抜粋

(2) これからの教育のキーワードは「自立した学習者」の育成

「自立した学習者」とは何か。自分で考え、判断して、行動できる、あるいは、そうしようとする、そんな能力や意思を持つ学び手をさすのだらう。

(荒瀬克己氏【あしたを楽しむ探究のすすめ～「自分とは」何かについて考える 新リカレント教育論第2回 中央教育審議会の答申から】)

<https://www.asahi.com/reife/article/14986017>

【義務教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ (概要) より抜粋】

④生涯学習社会を生き抜く自立した学習者の育成

- **自立した学習者の育成のため自分に合った学び方をしっかり身に付ける**ことが大切。子供たちが強みを生かしながら主体的に学べるよう、多様性を包摂する柔軟な教育課程の編成・実施を進めるための方策の検討も重要
- ICTを効果的に活用しつつ、**学びの主導権を適切に委ねることにより、子供たちが自らの学びを「自分事」として捉え**、自発的に他者と関わりながら学びを深めていく学習活動を展開

【「令和の日本型学校教育」の構築を目指して (答申) より抜粋】

- 学校の臨時休業中、子供たちは、学校や教師からの指示・発信がないと、「何をして良いか分からず」学びを止めてしまうという実態が見られたことから、**これまでの学校教育では、自立した学習者を十分に育てられていなかったのではないかと指摘もある。**
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業の長期化により、**多様な子供一人一人が自立した学習者として学び続けていけるようになっているか**、という点が改めて焦点化された

「自立」を深掘り②：利島っ子にとっての「自立」

(3) 「15の春に向けた自立」

- 島に高校がない利島では、義務教育修了と同時に島から出ることになり、「15の春」時点で、以下3つの大きな変化が生じる。卒業した「利島っ子」からは、苦労した経験談がある一方で、利島の環境の「強み」も存在する
 - ①親元を離れて生活する必要がある、内地の大学1年生と同程度の生活スキルが求められる **(生活習慣上の自立)**
 - ⇒卒業した「利島っ子」の声：一人暮らしをしているけど、大変さが分かっていなかった。洗濯とか、食事とか
 - ⇒利島の環境の強み：家庭同士の距離も近く、他の家庭の様子もよく分かる
 - ②これまでの友人がいない中で、同級生や先輩・後輩や高校教師等と新しく関係構築することが求められる **(コミュニケーション上の自立)**
 - ⇒卒業した「利島っ子」の声：高校入学後に自分から話しかけて友達を作るのが怖かった
 - ⇒利島の環境の強み：発表の機会が多かったり、異学年や多世代など、島内の様々な人とコミュニケーションを取る機会が多い
 - ③自己の将来のイメージを持ち、高い学習意欲を持って学びに向かうことが求められる **(学習習慣上の自立)**
 - ⇒卒業した「利島っ子」の声：勉強にまじめな子たちが多くて、「まずい、勉強しないと！」と思った
 - ⇒利島の環境の強み：極少人数で、きめ細かい指導・支援が受けられる
- 「15の春」を見据え、学校・家庭・地域などの関係者が協働して、長期スパンで準備を進める仕組みが必要。人口300人の島だからこそ、密な連携が可能 **【15の春自立シート】**

(参考) 教育基本法第13条

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする



利島の特徴「15の春」

人権尊重の精神を基盤とし、国際性豊かで健全な日本人を育成するため、義務教育九年間の一貫した教育を通して、知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指して次の目標を設定する。

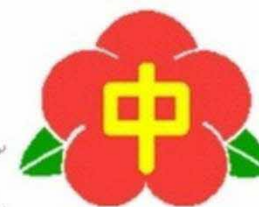


自立

よく考え 進んで学ぶ人

思いやりのある 心豊かな人

元気に たくましく生きる人



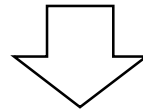
利島小中学校の学校教育目標における「自立」

「自立」を深掘り③：一般的な「自立」と利島っ子の「自立」

（４）辞書的意味の「自立」

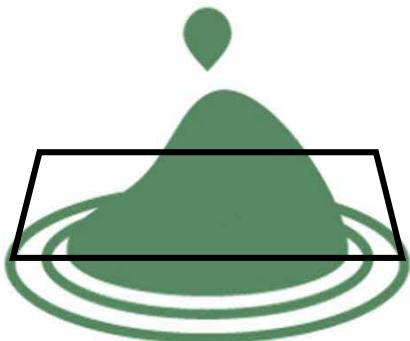
- 「自立」は「他の援助や支配を受けず、自分の力で判断したり身を立てたりすること。ひとりだち」（広辞苑）
- 「他からの支配や援助を受けず、自分の力だけで物事を行うこと。ひとりだち」（明鏡国語辞典）
- 「親からの経済的援助などを受けず、社会人として自分ひとりの力で生計を立てること」と「他に依存することなく、自分自身の判断に基づいて責任を持った行動をとること」（新明解国語辞典）
- 「自分だけの力で行動し生活すること」と「ほかからの助けを受けないでやっていくこと」（三省堂国語辞典）

（荒瀬克己氏【あしたを楽しむ探究のすすめ～「自分とは」何かについて考える 新リカレント教育論第2回 中央教育審議会の答申から】
<https://www.asahi.com/relife/article/14986017>）



「自立」に関するまとめ

- ✓ 「自立」の意味・解釈は様々であるが、**「自分の力で判断し、行動すること」が意味の中核**にある。
- ✓ 義務教育の目的の1つは社会で自立的に生きる基礎を培うことであり、これからの時代は、「自立した学習者の育成」が特に重要となる。
- ✓ 利島っ子にとっての自立は、学習面、生活面、コミュニケーション面などに整理でき、義務教育段階で日本の子供たちが一般的に身につけておきたい力と、利島っ子が身につけておくべき力は、**共通するところが多い**。
- ✓ 一方、利島の特徴である「15の春」に備える観点から、**利島っ子が、より重点的に身に付けておきたい力も存在**する。



①緑ロゴ：「15の春」の時点で、利島の子供たちが身につけておくべき力

②黒枠内：日本の子供たちが一般的に義務教育終了時に身につけておきたい力

「①かつ②」の領域もあれば、①のみ、②のみもある（＝「自立」の捉え方は様々）

子供たちの「15の春」に向けた「自立」を実現するための方向性

【自立】

- ✓ 「自立」は、「自分の力で判断し、行動すること」と考えられるが、その具体的な意味・捉え方は人によって様々。
- ✓ 義務教育の目的の1つは社会で自立的に生きる基礎を培うことであり、これからの時代は、「自立した学習者の育成」が特に重要となる。国の調査によれば、現状、児童生徒が「学校生活を通じて身に付けたいこと」と「身につけていると思うこと」に乖離が見られる場合（12ページ）や、児童生徒と教師との間で、学校生活に対する思いや考えにずれが生じている場合（13ページ）もある。
- ✓ 利島っ子にとっての自立は、学習面、生活面、コミュニケーション面などに整理でき、義務教育段階で日本の子供たちが一般的に身につけておきたい力と、利島っ子が身につけておくべき力は、共通するところが多い。一方、利島の特徴である「15の春」に備える観点から、利島っ子が、より重点的に身に付けておきたい力も存在する。

【学校・家庭・地域の連携】

- ✓ 子供たちが能力や態度を身に付けるべき場所について、家庭（48%）・学校（32%）・地域社会（13%）の3つで90%以上であり（14ページ）、**子供たちを育てるために、学校・家庭・地域社会の3者の連携が極めて重要。**
- ✓ 全国的に地域コミュニティの希薄化が進み、例えば都市部においては、学校・家庭・地域社会の連携には課題も多い。一方、小規模コミュニティである**利島の環境を「強み」として捉え、島全体で子供を育てていくことが必要。**

【具体的な仕組みとしての「15の春自立シート」】

- ✓ 学校・家庭・地域の**連携のためには、共通理解を図るための具体的な仕組みが必要。「15の春自立シート」は、利島の人の「自立」のイメージを具体的な言葉（自立項目）に落とし込んだもの。効果的に活用し、メタ認知や関係者の対話を促進**していく。

学校生活を通じて身に付けたいこと・身に付いていると思うこと

- ✓ 「失敗を恐れず挑戦する力」「相手に伝わるように自分の考えを表現する力」は、学校生活を通じて身に付けたいと考える児童生徒が半数以上であるのに対して、実際に学校生活を通じて身に付いていると思っている児童生徒は3割未満である。
- ✓ 「友達の大切さを認め、多様な意見や考えを尊重する力」「自分が困ったときに他の人に助けを求める力」「1人1台端末（タブレットなど）を学習等で活用する力」は回答割合にあまり差がない。

	学校生活を通じて身に付けたいこと 身に付いていると思うことの回答割合の差	【再掲】 学校生活を通じて 身に付けたいこと	【再掲】 学校生活を通じて 身に付いていると思うこと
失敗を恐れず挑戦する力	33ポイント差	59.2%	26.1%
相手に伝わるように自分の考えを表現する力	31ポイント差	57.8%	27.1%
自ら判断する力	28ポイント差	66.4%	38.8%
ものごとに見通しをもって計画的に取り組む力	26ポイント差	46.6%	20.6%
新しいものや考えを生み出す創造的な力	25ポイント差	48.8%	24.1%
基礎的・基本的な知識・技能	22ポイント差	72.9%	50.8%
自ら学ぶ力	21ポイント差	55.5%	34.1%
ものごとをやりとげるねばり強さ	21ポイント差	48.6%	27.2%
自ら論理的に考える力	20ポイント差	41.1%	21.0%
自分の生き方や進路について考える力	19ポイント差	43.4%	24.5%
社会生活に必要な常識やきまりを守る力	16ポイント差	51.5%	35.3%
自分の良さを生かし、他者と協力して取り組む力	16ポイント差	46.6%	30.6%
言われたことを正確に行う力	15ポイント差	43.3%	28.3%
集団の中で意見をまとめていくリーダーシップ	14ポイント差	33.2%	19.1%
自分には良さがあると認める力	10ポイント差	35.2%	24.7%
友達の大切さを認め、多様な意見や考えを尊重する力	7ポイント差	55.0%	47.7%
自分が困ったときに他の人に助けを求める力	7ポイント差	40.4%	33.4%
1人1台端末（タブレットなど）を学習等で活用する力	3ポイント差	31.2%	27.8%

※「学校生活を通じて身に付けたいことと身に付いていると思うことの回答割合の差」は、各項目の「学校生活を通じて身に付けたいこと」の数値から「学校生活を通じて身に付いていると思うこと」の数値を引いた差。

出典：文部科学省「義務教育に関する意識に係る調査」（令和5年12月公表）

(参考資料) 義務教育に関する意識に係る調査

例えば「失敗を恐れず挑戦する力」や「新しいものや考えを生み出す創造的な力」については、児童生徒からの期待に比して、教師の優先順位は必ずしも高くないという結果となっている等、児童生徒と教師との間で、学校生活に対する思いや考えにずれが生じているケースもある。

義務教育修了時に身に付けておくべき能力・態度、学校生活を通じて身に付けたいこと

✓ 全ての調査で、「基礎的・基本的な知識・技能」を身に付けておくべき・身に付けたいという回答が最も多く、いずれも7割以上である。

	教師	児童生徒	Webモニター
基礎的・基本的な知識・技能	73.4%	72.9%	72.9%
自ら判断する力	45.4%	66.4%	61.5%
失敗を恐れず挑戦する力	22.5%	59.2%	27.1%
相手に伝わるように自分の考えを表現する力	44.5%	57.8%	38.3%
自ら学ぼうとする意欲 (自ら学ぶ力)	37.4%	55.5%	44.5%
他者の大切さを認め、多様な意見や考えを尊重する力 (友達の大切さを認め、多様な意見や考えを尊重する力)	44.5%	55.0%	31.5%
社会生活に必要な常識やきまりを守る力	36.5%	51.5%	39.8%
新しいものや考えを生み出す創造的な力	7.1%	48.8%	14.8%
ものごとをやりとげるねばり強さ	26.7%	48.6%	24.3%
自分の良さを生かし、他者と協力して取り組む力	28.8%	46.6%	20.0%
ものごとに見通しをもって計画的に取り組む力	12.0%	46.6%	13.0%
自分の生き方や進路について考える力	10.6%	43.4%	12.5%
求められることを正確に行う力 (言われたことを正確に行う力)	2.6%	43.3%	8.9%
情報等を活用し、多様な観点から論理的に考える力 (自ら論理的に考える力)	19.6%	41.1%	21.7%
自分が困ったときに他者に助けを求める力 (自分が困ったときに他の人に助けを求める力)	26.9%	40.4%	19.5%
自分には良さがあると認める力	36.1%	35.2%	26.7%
集団の中で意見をまとめていくリーダーシップ	2.0%	33.2%	6.9%
1人1台端末(タブレットなど)を活用する力 (1人1台端末(タブレットなど)を学習等で活用する力)	1.6%	31.2%	4.4%
他者との衝突を避け、調和を重んじる力	6.1%		11.8%

※教師向け調査、Webモニター調査は、子供たちが義務教育修了時に身に付けておくべき能力や態度として特に重要だと思うものを必ず5つ選択。

※児童生徒向け調査は、学校生活を通じて身に付けたいこととしてあてはまるものを全て選択。

※児童生徒向け調査は、教師向け調査、Webモニター調査と選択肢が一部異なるため、選択肢が異なる項目については児童生徒向け調査の選択肢を括弧書きで示している。

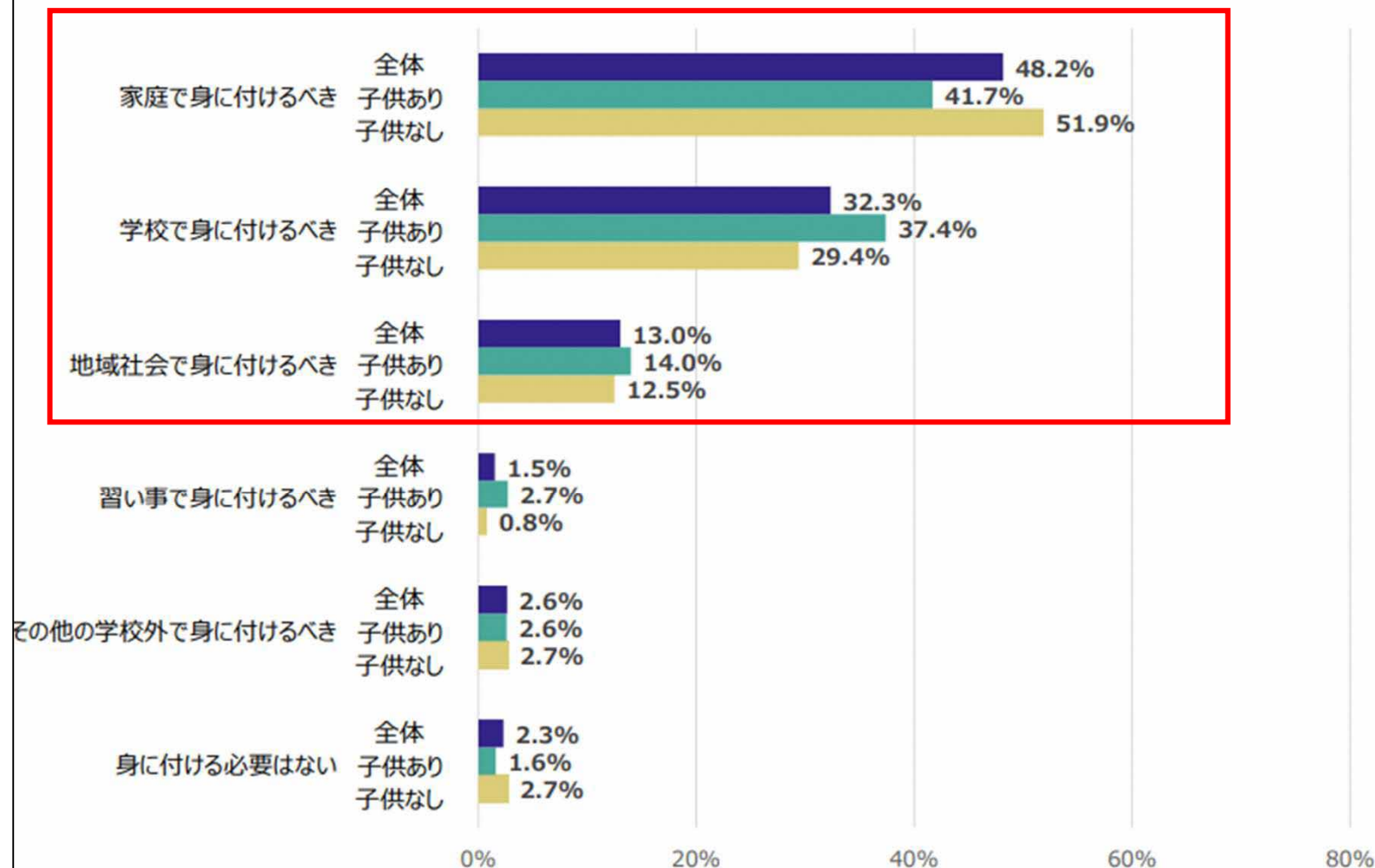
(参考資料) 義務教育に関する意識に係る調査

子供たちが能力や態度を身に付けるべき場所について、家庭（48%）・学校（32%）・地域社会（13%）の3つで90%以上

子供たちが身に付けるべき能力や態度はどこで身に付けるべきか

✓ 子供たちが能力や態度を身に付けるべき場所について、家庭、学校、地域社会の順で回答が多い。

(2) 子供たちが身に付けるべき能力や態度はどこで身に付けるべきかと考えますか。最もあてはまる項目を選んでください。



1. 「15の春自立シート」(1.0版)について
2. 「自立」の深掘り
3. これまで開催したワークショップにおける議論
4. 「15の春自立シート」の活用イメージ

①他地域の先生との議論の様子（令和5年3月）

伊豆大島や他の地域の学校の先生たちと「15の春」について考えるワークショップを行い、次ページを作成

「学校生活・対人」「生活スキル」に分けられるのでは？

子供本人が主観としてチェックすること、
教師や保護者により他者評価すること
の両方ができると多面的で良い。

自己管理・セルフコントロールが重要

チェックリストの項目は
「在り方」と「スキル」の両
面があるのでは？



子供たち自身が「15の春」をどう捉えている
かによってチェックリストが変わるのでは。
ワクワクしているのか不安なのか。

根底としての自己肯定
感があるかどうか

「良い子たち」が直面す
るのは学力の壁

例えば食事を作るスキルを全て家庭
科で教えきるのは難しい。家庭との
分担で夏休みの宿題を使うなど

3月ワークショップ（他島の先生対象）による成果

分類	チェック項目	誰が頑張るべきか
学びに向かう力・人間性等	✓ 高校進学後、一人で自律的に勉強に向かうことができる	学校＞家庭＞地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている	学校＝家庭＞地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 失敗したことを落ち込まず前向きに捉え、次への糧とすることができる	学校＞家庭＞地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ 毎朝、一人で起きて高校に行くことができる。規則正しい生活ができる	家庭＞学校＝地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ ここぞという時に、頑張りきることができる	学校＝家庭＞地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ 時間や約束を守ることができる	家庭＞学校＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 基本的な挨拶習慣があり、様々な人々と円滑にコミュニケーションできる	地域＞家庭＝学校
思考力・判断力・表現力	✓ 自分から知らない他者に話しかけることができる	地域＞家庭＝学校
思考力・判断力・表現力	✓ 大勢の前でも自己紹介等、自分自身の特徴を他者に伝えられる	学校＞家庭＝地域
思考力・判断力・表現力	✓ ふるさと利島の良さを自分なりに語ることができる	学校＝地域＞家庭
思考力・判断力・表現力	✓ 自分でお金の管理ができる	家庭＞学校＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ SNSの良さやリスクを理解し、使いこなすことができる	学校＝家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 意見が異なる人の話をよく聞くことができる	学校＞家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 安易に人や情報を盲信せず、よく見極めることができる	学校＞家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	学校＝家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている	学校＝家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ いかに困難な状況に陥っても、命を大切にしている意識を持ち続けている	家庭＞学校＞地域
知識・技能	✓ 読み・書き・計算など、社会で当然求められることを、行うことができる	学校＞家庭＞地域
知識・技能	✓ 分からないことが出てきた時、自分で調べて自分で解決できる	学校＞家庭＞地域
知識・技能	✓ インターネットを使って、情報収集や整理ができる	学校＞家庭＞地域
知識・技能	✓ 自分と異なる多様な特徴を持つ人がいることを知っている	学校＞家庭＝地域
知識・技能	✓ 自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	家庭＞学校＞地域

②利島の先生との議論の様子（令和5年4月）

前ページの成果物を使って、利島の先生たちと「15の春」について考えるワークショップを行い、次ページに修正

チェックリストは、大谷翔平選手のマンダラチャートみたいにすべきた

日本のどこの学校にいても通じるようなものにするべきではないか

子供は大人の鏡。村全体の自信が子供の自信になる

高校進学だけが「15の春」ではない



学ぶことの楽しさ、知ることの面白さを知っていて、自ら課題を見つけて研究できる力を身に付けてほしい

子供たち自身は、何が課題だと感じているのだろうか。

大人がやりすぎていては、この力は育たない。もっと子供に任せていくことが必要

SNSの使い方は、「学校＝家庭」ではなく「家庭＞学校」ではないか

4月ワークショップ（利島の先生対象）による初案の修正【修正箇所見え消し】

分類	チェック項目	誰が頑張るべきか
学びに向かう力・人間性等	✓ 「15の春」の後、高校進学後、やるべきことの優先順位をつけ、一人で自律的に勉強に向かうことができる	学校＞家庭＞地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 学ぶことが楽しいと思っている。自分で決めることの楽しさ・大切さを知っている。	学校＞家庭＞地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている	学校＝家庭＞地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 失敗したことを落ち込まず、何事も前向きに捉え、次への糧とすることができる	学校＞家庭＞地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ 少しの寂しさには耐え、毎朝、一人で起きて高校に行くことができる。規則正しい生活ができる	家庭＞学校＝地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ ここぞという時に、頑張りきることができる	学校＝家庭＞地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ 時間や約束を守ることができる	家庭＞学校＞地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 周囲の支えの大切さ、自分が大切にされてきたことを知っており、日々の「当たり前」に感謝し、自分もその一部を担おうとしている	家庭＞学校＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 基本的な挨拶習慣があり、様々な人々と円滑にコミュニケーションできる	地域＞家庭＝学校
思考力・判断力・表現力	✓ 自分から知らない他者に話しかけることができる	地域＞家庭＝学校
思考力・判断力・表現力	✓ 大勢の前でも自己紹介等、 自分自身の特徴を他者に伝えられる	学校＞家庭＝地域
思考力・判断力・表現力	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに語るすることができる	学校＝地域＞家庭
思考力・判断力・表現力	✓ 自分でお金の管理ができる	家庭＞学校＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる	学校＝家庭＞地域＝家庭＞学校＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 意見が異なる人の話をよく聞くことができ、同じくらい話すこともでき、周りがあるの自分であると考えることができる。	学校＞家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 安易に人や情報を盲信せず、よく見極める ことができる。人を「部分」で見ることができる。	学校＞家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 物事を筋道立てて説明し 、困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	学校＝家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている	学校＝家庭＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ いかに関難な状況に陥っても、自分は一人じゃないということを理解し、 命を大切に する意識をもち続けている	家庭＝＞学校＝＞地域
思考力・判断力・表現力	✓ 身の回りや地域、社会を「より良く」するために、具体的なことを考えて行動できる。	家庭＝学校＝地域
知識・技能	✓ 読み・書き・計算など、 学習の基礎基本 ・社会で当然求められることを、行うことができる	学校＞家庭＞地域
知識・技能	✓ 分からないことが出てきた時、 自分で調べて自分で解決できる	学校＞家庭＞地域
知識・技能	✓ インターネットを使って、 情報収集や整理 ができる	学校＞家庭＞地域
知識・技能	✓ 自分と異なる多様な特徴を持つ人がいることを知っている	学校＞家庭＝地域
知識・技能	✓ 正しい性の知識 を知っている	学校＞家庭＞地域
知識・技能	✓ 自らが健康であるために 、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	家庭＞学校＞地域

↑ 初案からの追記点等を赤字で記載。特に重要だと指摘があった点を太字下線で記載。

4月ワークショップ（利島の先生対象）による初案の修正【修正溶け込み】

No	分類	チェック項目	誰が頑張るべきか
1	学びに向かう力・人間性等	✓ 「15の春」の後、やるべきことの優先順位をつけ、一人で自律的に勉強に向かうことができる	学校＞家庭＞地域
2	学びに向かう力・人間性等	✓ 学ぶことが楽しいと思っている。自分で決めることの楽しさ・大切さを知っている。	学校＞家庭＞地域
3	学びに向かう力・人間性等	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている	学校＝家庭＞地域
4	学びに向かう力・人間性等	✓ 失敗したことを落ち込まず、何事も前向きに捉え、次への糧とすることができる	学校＞家庭＞地域
5	学ぶに向かう力・人間性等	✓ 少しの寂しさには耐え、毎朝、一人で起きて高校に行くことができる。規則正しい生活ができる	家庭＞学校＝地域
6	学ぶに向かう力・人間性等	✓ ここぞという時に、頑張りきることができる	学校＝家庭＞地域
7	学ぶに向かう力・人間性等	✓ 時間や約束を守ることができる	家庭＞学校＞地域
8	学びに向かう力・人間性等	✓ 周囲の支えの大切さ、自分が大切にされてきたことを知っており、日々の「当たり前」に感謝し、自分もその一部を担おうとしている	家庭＞学校＞地域
9	思考力・判断力・表現力	✓ 基本的な挨拶習慣があり、様々な人々と円滑にコミュニケーションできる	地域＞家庭＝学校
10	思考力・判断力・表現力	✓ 自分から知らない他者に話しかけることができる	地域＞家庭＝学校
11	思考力・判断力・表現力	✓ 大勢の前でも自己紹介等、自分自身の特徴を他者に伝えられる	学校＞家庭＝地域
12	思考力・判断力・表現力	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに語るることができる	学校＝地域＞家庭
13	思考力・判断力・表現力	✓ 自分でお金の管理ができる	家庭＞学校＞地域
14	思考力・判断力・表現力	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる	家庭＞学校＞地域
15	思考力・判断力・表現力	✓ 意見が異なる人の話をよく聞くことができ、同じくらい話すこともでき、周りがあつての自分であると考えることができる。	学校＞家庭＞地域
16	思考力・判断力・表現力	✓ 安易に人や情報を盲信せず、よく見極めることができる。人を「部分」で見ることができる。	学校＞家庭＞地域
17	思考力・判断力・表現力	✓ 物事を筋道立てて説明し、困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	学校＝家庭＞地域
18	思考力・判断力・表現力	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている	学校＝家庭＞地域
19	思考力・判断力・表現力	✓ 自分は一人じゃないということを理解し、命を大切にすることを意識をもち続けている	家庭＝学校＝地域
20	思考力・判断力・表現力	✓ 身の回りや地域、社会を「より良く」するために、具体的なことを考えて行動できる。	家庭＝学校＝地域
21	知識・技能	✓ 読み・書き・計算など、学習の基礎基本・社会で当然求められることを、行うことができる	学校＞家庭＞地域
22	知識・技能	✓ 分からないことが出てきた時、自分で調べて自分で解決できる	学校＞家庭＞地域
23	知識・技能	✓ インターネットを使って、情報収集や整理ができる	学校＞家庭＞地域
24	知識・技能	✓ 自分と異なる多様な特徴を持つ人がいることを知っている	学校＞家庭＝地域
25	知識・技能	✓ 正しい性の知識を知っている	学校＞家庭＞地域
26	知識・技能	✓ 自らが健康であるために、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	家庭＞学校＞地域

③利島の保護者との議論の様子（令和5年7月）

前ページの修正案を活用して、保護者向けに「15の春」について考えるワークショップを実施

項目はどれも良いし必要だと思う。シートの使い方の方が重要。子供が使うなら、簡単な言い回しにした方が良い。

新しい地での自分の可能性もつけてもらいたい。最低限の読み書きを前提として、「努力の仕方」を身につけないと

ふるさとも大切にしたい。島のことを思いながら成長できると良い。

生活のお金と遊ぶお金を分けてほしい

自分の意見や気持ちを自分の言葉で言える人になってほしい（自分は自分/人は人）



意外に親が心配しているだけでは？掃除洗濯などをしなきゃというもあるが、親元から離れる良さも感じていると思う。

現状、利島特化ではなく、15歳の春としてまとめている。項目を絞るなら【利島の子が15歳で島を出るもの】に絞れるといい

不等号で誰が担当するかを決める話ではなくて、ピラミッド的に、誰が何をできるのかという視点で整理していくといいのでは

自立サポートは保育園からスタートしている。小さい頃からマナーや地域のことは学べる。

みんなの意見が聞けるし、自分の不安を話して共有できる場にもなるので参加してよかった

7月ワークショップ（保護者の方対象）による修正【修正箇所見え消し】

分類	チェック項目	誰が頑張るべきか
学びに向かう力・人間性等	✓ 「15の春」の後、やるべきことの優先順位をつけ、一人でコツコツと自律的に勉強に向かうことができる	学校> 家庭> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 自分にあった学び方を知っていて、その学び方が身についている	学校> 家庭> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 学ぶことが楽しいと思っている。自分で決めることの楽しさ・大切さを知っている。	学校> 家庭> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている	学校= 家庭> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 失敗したことを落ち込まず、何事も前向きに捉え、次への糧とすることができる	学校> 家庭> 地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ 少しの寂しさには耐え、毎朝、一人で起きて高校に行くことができる。規則正しい生活ができる	家庭> 学校= 地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ ここぞという時に、頑張りきることができる責任感を持っている	学校= 家庭> 地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ 時間や約束を守ることができる	家庭> 学校> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 周囲の支えの大切さ、自分が大切にされてきたことを知っており、日々の「当たり前」に感謝し、自分もその一部を担おうとしている	家庭> 学校> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 少なくとも、自分がされて嫌なことは人にせず、自分がしてもらって嬉しいことを人にできる	家庭> 学校> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 基本的な挨拶習慣があり、様々な人々と円滑にコミュニケーションできる	地域> 家庭= 学校
思考力・判断力・表現力	✓ 自分から知らない他者に話しかけることができる	地域> 家庭= 学校
思考力・判断力・表現力	✓ 大勢の前でも自己紹介等、自分自身の特徴を他者に伝えられる	学校> 家庭= 地域
思考力・判断力・表現力	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに語るすることができる	学校= 地域> 家庭
思考力・判断力・表現力	✓ 生活のお金と遊ぶお金を分けるなど、自分でお金の管理ができる	家庭> 学校> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる	家庭> 学校> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 意見が異なる人の話をよく聞くことができる、同じくらい話すこともでき、周りがあつての自分であると考えることができる。	学校> 家庭> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 安易に人や情報を盲信せず、よく見極めることができる。人を「部分」で見ることができる。	学校> 家庭> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 物事を筋道立てて説明し、困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	学校= 家庭> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている	学校= 家庭> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 自分は一人じゃないということを理解し、命を大切にすることを意識を持ち続けている	家庭= 学校= 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 身の回りや地域、社会を「より良く」するために、具体的なことを考えて行動できる。	家庭= 学校= 地域
知識・技能	✓ 読み・書き・計算など、学習の基礎基本・社会で当然求められることを、行うことができる	学校> 家庭> 地域
知識・技能	✓ 分からないことが出てきた時、自分で調べて自分で解決できる	学校> 家庭> 地域
知識・技能	✓ インターネットを使って、情報収集や整理ができる	学校> 家庭> 地域
知識・技能	✓ 自分と異なる多様な特徴を持つ人がいることを知っている	学校> 家庭= 地域
知識・技能	✓ 正しい性の知識や犯罪・防犯に関する意識を持っている知っている	学校> 家庭> 地域
知識・技能	✓ 自らが健康であるために、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	家庭> 学校> 地域

↑ 初案からの追記点等を赤字で記載。特に重要だと指摘があった点を太字下線で記載。

7月ワークショップ（保護者の方対象）による修正【修正溶け込み】

No	分類	チェック項目	誰が頑張るべきか
1	学びに向かう力・人間性等	✓ 「15の春」の後、やるべきことの優先順位をつけ、一人でコツコツと勉強に向かうことができる	学校＞ 家庭＞ 地域
2	学びに向かう力・人間性等	✓ 自分にあった学び方を知っていて、その学び方が身についている	学校＞ 家庭＞ 地域
3	学びに向かう力・人間性等	✓ 学ぶことが楽しいと思っている。自分で決めることの楽しさ・大切さを知っている	学校＞ 家庭＞ 地域
4	学びに向かう力・人間性等	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている	学校＝ 家庭＞ 地域
5	学びに向かう力・人間性等	✓ 失敗したことを落ち込まず、何事も前向きに捉え、次への糧とすることができる	学校＞ 家庭＞ 地域
6	学ぶに向かう力・人間性等	✓ 少しの寂しさには耐え、毎朝、一人で起きて高校に行くことができる。規則正しい生活ができる	家庭＞ 学校＝ 地域
7	学ぶに向かう力・人間性等	✓ ここぞという時に、頑張ることができる責任感を持っている	学校＝ 家庭＞ 地域
8	学ぶに向かう力・人間性等	✓ 時間や約束を守ることができる	家庭＞ 学校＞ 地域
9	学びに向かう力・人間性等	✓ 周囲の支えの大切さ、自分が大切にされてきたことを知っており、日々の「当たり前」に感謝し、自分もその一部を担おうとしている	家庭＞ 学校＞ 地域
10	学びに向かう力・人間性等	✓ 少なくとも自分がされて嫌なことは人にせず、自分がしてもらって嬉しいことを人にできる	家庭＞ 学校＞ 地域
11	思考力・判断力・表現力	✓ 基本的な挨拶習慣があり、様々な人々と円滑にコミュニケーションできる	地域＞ 家庭＝ 学校
12	思考力・判断力・表現力	✓ 自分から知らない他者に話しかけることができる	地域＞ 家庭＝ 学校
13	思考力・判断力・表現力	✓ 大勢の前でも自己紹介等、自分自身の特徴を他者に伝えられる	学校＞ 家庭＝ 地域
14	思考力・判断力・表現力	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに語るすることができる	学校＝ 地域＞ 家庭
15	思考力・判断力・表現力	✓ 生活のお金と遊ぶお金を分けるなど、自分でお金の管理ができる	家庭＞ 学校＞ 地域
16	思考力・判断力・表現力	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる	家庭＞ 学校＞ 地域
17	思考力・判断力・表現力	✓ 意見が異なる人の話をよく聞くことができ、同じくらい話すこともでき、周りがあつての自分であると考えてすることができる	学校＞ 家庭＞ 地域
18	思考力・判断力・表現力	✓ 安易に人や情報を盲信せず、よく見極めることができる。人を「部分」で見ることができる	学校＞ 家庭＞ 地域
19	思考力・判断力・表現力	✓ 物事を筋道立てて説明し、困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	学校＝ 家庭＞ 地域
20	思考力・判断力・表現力	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている	学校＝ 家庭＞ 地域
21	思考力・判断力・表現力	✓ 自分は一人じゃないということを理解し、命を大切にすることを意識を継続している	家庭＝ 学校＝ 地域
22	思考力・判断力・表現力	✓ 身の回りや地域、社会を「より良く」するために、具体的なことを考えて行動できる	家庭＝ 学校＝ 地域
23	知識・技能	✓ 読み・書き・計算など、学習の基礎基本・社会で当然求められることを、行うことができる	学校＞ 家庭＞ 地域
24	知識・技能	✓ 分からないことが出てきた時、自分で調べて自分で解決できる	学校＞ 家庭＞ 地域
25	知識・技能	✓ インターネットを使って、情報収集や整理ができる	学校＞ 家庭＞ 地域
26	知識・技能	✓ 自分と異なる多様な特徴を持つ人がいることを知っている	学校＞ 家庭＝ 地域
27	知識・技能	✓ 正しい性の知識や犯罪・防犯に関する意識を持っている	学校＝ 家庭＞ 地域
28	知識・技能	✓ 自らが健康であるために、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	家庭＞ 学校＞ 地域

④村長と話そう会（教育大綱編：11月実施）における「15の春」の議論

教育大綱の改定のための意見交換会（村長と話そう会：11月実施）においても「15の春」への意見が多数ありました

【質疑応答】

Q教育大綱に記載の「自立」とは何か？

- 「自立」と「自律」の両方の意味がある。利島の場合、「自立」が広い意味で使われており、15歳で親元を離れる点が特徴。その際に求められる力を広い意味で「自立」と捉えている。「自立」は子供たちだけでなく我々大人側も、村の行政としても目指すべき方向。

Q使い方について、できる・できないをチェックするものにするよりは、子供・保護者・教職員が話し合うきっかけになるようなものであってほしい。

- その通り。実際、作成のためのワークショップ後に、親子で話し合った例もあると聞いている。

Q利島で言われている「自立」と日本国内一般の「自立」にはズレがあるのではないか。「自立」の意味を揃えて使うべきでは？

- 人によってとらえ方が違う中で1つの意味に統一するよりは、自立シートにある「項目」のように多様な解釈のもとで、共通認識を図っていく方が良いと考えている。使いやすさの観点から、機動的にどんどん改定していく軽さのようなものが必要。

【意見交換・意見募集】

- 「15の春自立シート」のような、自立をはかる指標があることはいいことだと思う。一方、シートの項目には達成が難しいなと思う項目もあり、達成することを目的にするのではなく、「自分はここまでできる」あるいは「自分はここが苦手」という認識をすること、自己理解をした上で島外に出ることが大切。
- 「15の春自立シート」は、現状できないことに目を向けている気がするので、「星あつめシート」みたいな表現で、できることを増やすためのシートにすると良いのでは。
- 自立という言葉について、自分で自分を把握し、できないことは周りにヘルプを出せることが大切。親子で話す場を、各家庭で持つことが大切ではないか。

追加修正の観点・考え方

①取組の名前について

- ✓ 当初「15の春チェックシート」（仮称）でしたが、「できる・できない」をチェックするものではなく、「自立」のためのメタ認知と対話を促進するものである趣旨を明確にするため、「**15の春自立シート**」に変更しました。

②項目名を分かりやすく

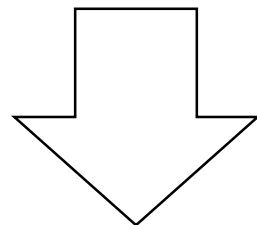
- ✓ 子供にとってもイメージしやすい項目にするため、**なるべく簡単な記載**にしました。また、**利島小中学校に通っているうちに活用できるように**、項目名を修正しました。その他、同じような記載がある項目は記載を削りました。

③項目数を絞るか否か

- ✓ 「自立」の捉え方も活用の仕方も様々であるため、**項目数は絞らず**、活用の仕方を工夫するようにします。

（参考）これまでの議論【再掲】

- できる・できないをチェックするものにするよりは、子供・保護者・教職員が話し合うきっかけになるようなものであってほしい。
- 項目はどれも良いし必要だと思う。シートの使い方の方が重要。子供が使うなら、簡単な言い回しにした方が良い。
- 人によってとらえ方が違う中で1つの意味に統一するよりは、自立シートにある「項目」のように多様な解釈のもとで、共通認識を図っていく方が良い。



次ページのように文言等を修正

「15の春チェックリスト」「15の春自立シート」【修正箇所赤字】

分類	自立チェック項目	誰が頑張りとこるべきか
学びに向かう力・人間性等	「15の春」の後、やるべきことの順番優先順位をつけて、一人でコツコツと勉強に向かうことができる	学校> 家庭> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 自分にあった学び方を知っていて、その学び方が身についている	学校> 家庭> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 学ぶことが楽しいと思っている。自分で決めることの楽しさ・大切さを知っている	学校> 家庭> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている	学校= 家庭> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 失敗したことを落ち込まず、 何事も 前向きに捉え、次に生かすへの糧とすることができる	学校> 家庭> 地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ 毎朝、 少しの寂しさには耐え 一人で起きるで高校に行くことができる。規則正しい生活ができる	家庭> 学校= 地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ ここぞという時に、頑張ることができる責任感を持っている	学校= 家庭> 地域
学ぶに向かう力・人間性等	✓ 時間や約束を守ることができる	家庭> 学校> 地域
学びに向かう力・人間性等	周り囲の支えの大切さ、自分が大切にされてきたことを知っており、日々の「当たり前」に感謝し、自分も周りを大切にできるその一部を担おうとしている	家庭> 学校> 地域
学びに向かう力・人間性等	✓ 少なくとも自分がされて嫌なことは人にせず、自分がしてもらって嬉しいことを人にできる	家庭> 学校> 地域
思考力・判断力・表現力	基本的な自分から挨拶習慣があり、様々な人々と円滑にコミュニケーション できる	地域> 家庭= 学校
思考力・判断力・表現力	✓ 自分から知らない他者に話しかけて、コミュニケーションがることができる	地域> 家庭= 学校
思考力・判断力・表現力	大勢たくさん人の前でも自己紹介 できる等、自分自身のこと特徴を説明できる他者に伝えられる	学校> 家庭= 地域
思考力・判断力・表現力	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに話すことができる	学校= 地域> 家庭
思考力・判断力・表現力	✓ 生活のお金と遊ぶお金を分けるなど、自分でお金の管理ができる	家庭> 学校> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる	家庭> 学校> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 意見が違ふ異なる人の良いところを見つけ、話をよく聞くことができ、同じくらい話すこともでき、 周りがあっての自分である と考えることができる	学校> 家庭> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 簡単に安易に人や情報を信じ込まずに盲信せず、嘘か本当かをよく見極めることができる。 大を「部分」で見ることができる	学校> 家庭> 地域
思考力・判断力・表現力	物事を筋道立てて説明し、 困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	学校= 家庭> 地域
思考力・判断力・表現力	自分自身のストレスの発散法について知っている「人の好き嫌い」と「考え方の違い」を分けて考えることができる。	学校= 家庭> 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 自分は一人じゃないということを理解し、命を大切にすることを意識し続けている	家庭= 学校= 地域
思考力・判断力・表現力	✓ 自分の周り身の回りや地域、社会を「より良く」するために、具体的なことを考えて行動できる	家庭= 学校= 地域
知識・技能	✓ 読み・書き・計算など、 学習の基礎基本 -社会で当然求められることを、行うことができる	学校> 家庭> 地域
知識・技能	✓ 分からないことが出てきた時は、インターネットや本などを使い、 って 自分で情報を集めて収集や整理ができる	学校> 家庭> 地域
知識・技能	分からないことが出てきた時、自分で調べて自分で解決できる自分自身のストレスの発散法について知っている	学校= 家庭> 地域
知識・技能	✓ 自分と異なる色々な多様な特徴を持つ人がいることを知っている	学校> 家庭= 地域
知識・技能	✓ 正しい性の知識や犯罪・防犯に関する意識を持っている	学校= 家庭> 地域
知識・技能	✓ 自らが健康であるために、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	家庭> 学校> 地域

1. 「15の春自立シート」(1.0版) について
2. 「自立」の深掘り
3. これまで開催したワークショップにおける議論
4. 「15の春自立シート」の活用イメージ

「15の春自立シート」の活用イメージ

- ✓ 「15の春自立シート」では、「自立項目」として28個を記載。効果的な活用により、以下の効果が期待できる。
 - ①メタ認知の促進：（例）YouTubeばかり見て夜更かしてしまうから、この1年意識して改善したい（児童生徒）。
 - ②対話の促進：（例）子供が得意なことについて、保護者面談で話し合ってみた（教師・保護者）。
- ✓ 具体的な活用方法として、様々な可能性があるが、例えば以下が考えられる。
 - a)測定シート (p29)**
 - ⇒全項目について網羅的なアンケートを実施（自己評価・他者評価）して、子供の「強み」の理解を深める方法
 - ⇒定期的の実施し、変化・成長を把握
 - b)マンダラチャート(p30)**
 - ⇒8項目をピックアップして「マンダラチャート化」し、子供自身が日々の振り返りに活用
 - ⇒目につきやすいところに貼る（教室やトイレなど）
 - c)「これだけは」シート(p31)**
 - ⇒3項目程度を「重点項目」としてピックアップし、学期ごとに特に伸ばしたい項目についてメタ認知や対話を重ねる方法
 - ⇒マンダラチャートとともに、保護者面談等で活用
 - d)サポート宣言(p32)**
 - ⇒1項目に絞り、大人側ができるサポートについて考える方法
 - ⇒大人側の意識づけや生涯学習にも活用可能
- ✓ **義務教育学校への移行と合わせ、令和6年4月から活用を開始し**、より効果的な活用方法を関係者が議論を重ねながら追求していく。

活用イメージ①：測定シート【全項目について自己評価・他者評価を実施】

No	自立項目	5点満点中何点？
1	✓ やるべきことの順番をつけて、一人でコツコツと勉強に向かうことができる	
2	✓ 自分にあった学び方を知っていて、その学び方が身についている	
3	✓ 学ぶことが楽しいと思っている。自分で決めることの楽しさ・大切さを知っている	
4	✓ 自分自身の良いところ、強みについて自信を持っている	
5	✓ 失敗したことを落ち込まず前向きに捉え、次に生かすことができる	
6	✓ 毎朝、一人で起きることができる。規則正しい生活ができる	
7	✓ ここぞという時に、頑張ることができる責任感を持っている	
8	✓ 時間や約束を守ることができる	
9	✓ 自分が大切にされてきたことを知っており、日々の「当たり前」に感謝し、自分も周りを大切にできる	
10	✓ 少なくとも自分がされて嫌なことは人にせず、自分がしてもらって嬉しいことを人にできる	
11	✓ 自分から挨拶できる	
12	✓ 自分から知らない他者に話しかけて、コミュニケーションできる	
13	✓ たくさんの人の前でも自己紹介できる等、自分のことを説明できる	
14	✓ ふるさと利島の良さと課題を自分なりに話すことができる	
15	✓ 生活のお金と遊ぶお金を分けるなど、自分でお金の管理ができる	
16	✓ SNSの良さとリスクを理解し、使いこなすことができる	
17	✓ 意見が違う人の良いところを見つけ、話をよく聞くことができ、同じくらい話すこともできる	
18	✓ 簡単に人や情報を信じ込まずに、嘘か本当かを見極めることができる。	
19	✓ 困ったときに、その内容を正確に伝え、助けを求めることができる	
20	✓ 「人の好き嫌い」と「考え方の違い」を分けて考えることができる。	
21	✓ 自分は一人じゃないということを理解し、命を大切にすることを意識し続けている	
22	✓ 自分の周りや地域を良くするために、考えて行動できる	
23	✓ 読み・書き・計算など、社会で当然求められることを、行うことができる	
24	✓ 分からないことが出てきた時は、インターネットや本などを使い、自分で情報を集めて整理ができる	
25	✓ 自分自身のストレスの発散法について知っている	
26	✓ 自分と異なる色々な特徴を持つ人がいることを知っている	
27	✓ 正しい性の知識や犯罪・防犯に関する意識を持っている	
28	✓ 自らが健康であるために、自分の食事を作ることができたり、洗濯、部屋の整理整頓ができる	

活用イメージ②：マンダラチャート【子供自身が振り返りに活用】

- ✓ 「マンダラチャート」形式で、「15の春に向けた自立」を真ん中に置き、力を入れたい8項目を「自立シート」からピックアップ
- ✓ 子供自身が日々の振り返りに活用

参考) 大谷翔平選手の高校時代入力したマンダラチャート

体のケア	サプリメントを飲む	FSQ90KG	インステップ改善	体感強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身手動
スタミナ	可動域	食事夜7杯朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりと目的・目標を持つ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	ドラフト1位8球団から指名される			軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気流されない				体幹強化	スピード160km/h	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	2010年	高校野球部	大谷翔平	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウントボールを増やす	フォークの完成	スライダーのキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に	運	審判さんへの態度	遅く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームを投げる	ストライクからボールに	奥行きをイメージ

大谷翔平選手が高校1年生の時に書いたマンダラチャート（書き起こし）

活用イメージ③：「これだけは」シート【関係者間の対話を促進】

「これだけは」	2. 自分にあつた学び方を知っていて、その学び方が身についている	11. 自分から挨拶できる	24. 分からないことが出てきた時は、インターネットや本などを使い、自分で情報を集めて整理ができる
○○さん			
先生の応援			
保護者の方の応援			

活用イメージ④：「15の春」サポート宣言【大人向け】

	項目
1	✓やるべきことの順番をつけて、一人でコツコツと勉強に向かうことができる



利島の先輩たちの想い



- ✓ 高校に進学したら、もう誰も「勉強しなさい」とも言ってくれない。進学までに勉強習慣をつけないと。
- ✓ 高校に進学した後、周りの友達の勉強への熱量がすごかった。

大人たちの「頑張りどころ」(例)

学校	✓ 更に学びたくなるような授業実践をする
家庭	✓ 背中を見せ、子供の隣で机を並べて勉強する
地域	✓ 近所の子に教えられそうな教科・科目を教えてみる

サポート宣言 (大人にできることは?)



◆ サポート宣言 ()